

米国のバイオ燃料事情



石油精製販売の大手がエタノールビジネスに参入 受身の業界に新しい動き

先月、エタノール製造大手 VeraSun Energy の資産の競売があり、Valero Energy が 7 カ所のエタノール製造設備を落札しました。

VeraSun は昨年 10 月に連邦倒産法 11 条の適用を申請しています。

Valero が落札したのは、サウスダコタ州 Aurora の設備、アイオワ州 Albert City、Charles City、Fort Dodge および Harley の各設備、ミネソタ州 Welcome の設備、インディアナ州 Reynolds の設備およびネブラスカ州 Albion の設備です。

合計すると「米国内のエタノール製造能力の 7.5%」(4 月 2 日、Reuters News)になるそうで、すでに 5 カ所の設備の売買手続きが終わっています。

Valero はこれらの設備をフル稼働させる予定です。

かなり前から

Valero の Klesse 最高経営責任者が 2007 年に、「エタノール製造設備を建設するだけでなくそれ以上の機会を探っている」(2007 年 5 月 30 日、Voxant FD (FAIR DISCLOSURE) WIRE) と語っています。

この頃はエタノール製造設備を製油所の近くに設置することを考えていましたが、今回は自社の製油所や配送基地の近くということだけでなく、原料(トウモロコシ)の調達を考慮したそうです。

「製造するエタノールは自社のガソリンへの混合だけでなく販売も考えている。石油会社がトウモロコシの取引に参入することもある」(2 月 9 日、Platts Commodity News)としており、トウモロコシの栽培農家との契約も考えています。

エタノール業界ですが

(Web 公開)「世界のエネルギーの話題」(2009年 4 月 7 日)

今回の競売は非公開ですが、「Archer Daniels Midland (ADM)もいくつかの VeraSun の資産に対して入札を行ったが 1 件も落札できなかった」(3 月 17 日、Reuters News)と、関係者がリークしています。

エタノール製造大手の Poet も、「競売に参加しようと考えていた」(1 月 16 日、Reuters News)ようですが、その後は音沙汰がありません。

これから

米国の精製販売会社 Sunoco の Elsenhans 最高経営責任者が、「Valero のようにエタノール製造設備の買収に動く石油会社は何社も出てくるでしょう」(3 月 24 日、Platts Commodity News)と語っています。

例えば、カリフォルニア州で最大のエタノール製造会社 Pacific Ethanol があります。

同社は 4 月末までの運転資金は何とか確保しましたが、連邦倒産法 11 条の適用の申請を考えています。

ひとこと

製油所の売買と同じようにエタノール製造設備を売買する時代になりました。

今回、Valero は、再取得価額の約 30%の価格で設備を入手しています。

(YY)

本レポートは、世界の 2500 紙以上の新聞、5500 紙以上のビジネス紙および業界紙、600 以上のニュースワイヤー(速報)/プレスリリース等を検索できるファクティバ(ダウ・ジョーンズ社のデータベースサービス)を利用して入手した多数の記事、レポートを比較、分析して執筆しています。(山崎由廣)